

令和5年度 校長より ⑨

かつてここまで生徒たちの成長している姿を見ることができた体育祭はあったであろうか。いつ止むかわからない雨と強風の中、生徒たちは早朝より登校し、開催に向けて粛々と準備に取りかかっていきました。9月9日（土）、第36回六国祭は1時間遅れでの開始となりました。パネルの披露からスタートしたプログラムは、各カラーの発表（応援、チア、仮装）と色別対抗による各競技を重ねながら進んで行きました。前日からの雨による準備不足で大幅に時間延長が見込まれるところでしたが、委員長、六国総務、実行委員会、各カラー団幹部、各部活動等の役員のリーダーシップと、全校生徒の一致団結した姿勢により、予定されたプログラムを全て実施して閉会式を迎えることができました。主体性、行動力、責任感、連帯意識、自尊心、友愛、実現力など、本校生徒がこれまでの人生で培ってきた力を大いに発揮し、結集させることで成し遂げた体育祭であったと感じました。後夜祭では普段は見られない生徒のパフォーマンスで盛り上がり、最後は在校生全員で夜空に彩る花火を満喫して第36回六国祭は締めくくられました。大高生の皆さん、厳しい条件の中、他に類を見ることのないほどの素晴らしい六国祭を実現してくださり有難うございました。特に3年生には、大高生の底力を見せていただいたと感じています。1・2年生のフォロアーシップも見事でした。本校の伝統がしっかりと「コウシン」されました。どうぞこれからも、自分たちの学校を自分たちの手で作り上げていってください。よろしくお願いいたします。また、この度の開催にあたりご支援くださいました保護者の皆様には心より感謝申し上げます。引き続き本校へのご支援とご協力をよろしくお願いいたします。

各時間帯の定員150組300名は申込受付が早い時間帯から順次満員となり、前日までに全6部において合わせて約900組1800名の中学生とその保護者に御来校いただくこととなりました。9月30日（土）は、第1回学校見学会が実施されました。令和6年度入学者選抜では、本校は第一次選考で調査書の評定と学力検査の割合を3対7とし、加えて学力検査の数値を英語1.5倍、国語・数学のうち点数の高い1教科を1.5倍とする重点化を実施することといたしましたので、調査書重視を期待する受検生離れが心配されるころでしたが、お陰様で例年以上の盛況ぶりとなり、本校の生徒や教育活動、進路結果などに対する関心の高さを受け止めさせていただき、また、そうした期待に応えるべき校長としての学校経営の責任の重さを感じさせていただきました。当日は、順路に沿った本校の施設・設備の見学、学校紹介動画の視聴などをしていただいた後に、興味・関心のある部活動の活動状況を見学していただきました。各部40分間と短い時間でしたが、受検を希望している学校の選抜や本校への受検の意思決定にお役に立てたのではないかと思います。10月に入ると中学校では全校で進路希望調査が実施されます。これまで迷っている方の中で一人でも多くの方が本校への受検を意思決定していただくことをお願い申し上げ、ご来校いただきましたことへの校長からの御礼に代えさせていただきます。この度はご来校有り難うございました。

令和5年10月

神奈川県立大船高等学校 校長 幸田 隆